

ウトナイ湖通信



No.253

2025 年6月号



夏が少しずつ近づく6月のウトナイ湖。例年湖岸で見られるコチドリが今年も子育てをするためにやってきました。林では、キビタキやアオジ、センダイムシクイのさえずりが聞こえてきます。ぜひ耳を澄ませてみてください。

ウトナイ湖は、周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

6月のイベント情報



お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

6月8日(日)10:30~11:30

レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内します。※荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

- 定員:10名程度
- 対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)
- 申込:不要。直接当センターへ



ボランティア体験講座

～自然を調べる仲間を募集中～

自然情報収集調査体験

6月29日(日)9:30~12:00

前半は当センターのボランティア活動とウトナイ湖の説明、後半は屋外にて自然情報収集調査を体験いただきます。ご希望の方は受講後に当センターボランティアとしてご登録していただけます。

- 定員:5名程度
- 対象:高校生以上(登録は18歳以上)
- 申込:事前申込制

6/1(日)~6/28(土)の開館時間に電話または直接当センターへ

※当センターのボランティアは本講座を受講した方のみ登録いただけます。

第2回 野生動物に学ぶ救護セミナー 『スズメバチに刺されないために』

7月5日(土)10:00~12:00

北海道立衛生研究所の伊東拓也さんから、スズメバチの生態と対策について学びます。

- 定員:30名 申込先着順
- 対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)
- 申込:事前申込制

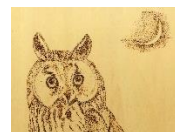
6/3(火)~7/4(金)の開館時間に当センターへ電話



市民ギャラリー

「第7回 奥山博美点描画展」

展示期間:2025年5月17日(土)~6月15日(日) 展示者:奥山 博美 氏



◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前9時~午後5時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

検索

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



~ ウトナイ湖 ~

・国指定鳥獣保護区特別保護地区
・ラムサール条約湿地
・東アジア・オーストラリア地域
・フライウェイ・パートナーシップ

傷病鳥獣ルームから

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



コゲラ

体重 20 g



搬入直後の様子

頭を体にくっつけて
膨らんでいる



保温中の様子

原因：交通事故の可能性

3月29日

10:30



11:30



3月30日

死 亡

道路の真ん中で飛べずにいたところを保護され、同日中に保護センターへ搬入。状況から、交通事故が疑われた。初診では、明らかな外傷は認めなかったが、左翼が下垂しており、打撲を疑った。また、頭部等に強い衝撃を受けたのか、頭部を水平に動かす神経症状も確認。ただちに保温、安静にするも良化せず、膨らをした状態が続き、翌日死亡。

コゲラ（キツツキ目 キツツキ科）

全長 15 cm。日本産キツツキ類の中、最小の種です。オスの成鳥は、後頭の両脇に赤い斑がありますが、メスの成鳥に赤い斑はありません。ウトナイ湖周辺でも1年を通じ観察できます。「ギイー」という濁った鋭い声で頻繁に鳴くほか、しばしば「キッキッキッキ」と甲高い声を出すこともあります。

トピックス



知っているようで知らないカラスの話

4月26日、NPO法人札幌カラス研究会代表理事の中村眞樹子氏を講師にお迎えし、セミナーを開催しました。繁殖期を迎えたカラスの生態やごみとの関係性などお話しいただき、質疑応答ではカラスの巣についてや保護した際の対応など、多くの質問が寄せられました。



ウトナイ湖・春の渡り鳥 DAY を開催

世界渡り鳥の日にあわせ、越冬地から渡ってきた夏鳥をテーマに、ウトナイ湖の春の自然を楽しむイベントを開催しました。ボランティアミニガイドでは計41の方が参加され、観察路でオオジシギやフデリンドウの解説を聞き感動したという声が聞かれました。



ボランティアコーナー

5/6に開催した春の渡り鳥 DAY の「ボランティアミニガイド」で案内をされた あいかわ さんにインタビューしました。

春の渡り鳥 DAY に参加しようと思った理由はなんですか？

ウトナイ湖のような貴重な環境が残されていることを多くの皆さんにお伝えすると同時に、参加者の皆さんの身の回りの身近な生き物や環境に目を向けてもらうきっかけになればと思いました。

参加してみた感想を教えてください。

自分では理解しているつもりでいたことが実はわかっていなかったことに、参加者の皆さんとのやり取りを通じて気が付きました。

印象に残ったことがあれば教えてください。

オオジシギのディスプレイフライト。

はるかオーストラリアから旅してきたあとでも「オレはヤルぜ！イケイケだぜエー！」という、あのテンションの高さ、恐れ入ります。



ウトナイ湖の自然をガイドする
あいかわ さん

ウトナイ湖 お楽しみコーナー 【ウトナイ湖・クイズ】

尾を上下に振る可愛らしい
仕草が特徴的なセキレイの仲
間。ウトナイ湖でも複数見る
ことができます。

さて、次のA～Dのうち、実
在しないセキレイの名前はど
れでしょう？

- A. キセキレイ
- B. ハクセキレイ
- C. セグロセキレイ
- D. セアカセキレイ

※ 答えは最後の
ページにあります。



公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



Facebook



X





【センダイムシクイ】
全長13cm。「チヨチヨ
ビー」とさえずる。雨上が
りの水たまりで、水を飲
んだり、水浴びする姿が
見られることもある。



【ツツドリ】
全長32cm。森の中で聞こえる「ポポポポ」という声の正体。他の野鳥にヒナを育てさせる「托卵」という習性がある。



【ベニマシコ】
全長15cm。写真はオスで、メスは茶褐色。「ピッポ」と素早く鳴く。ヨシの多いウトナイ湖岸で見られることが多い。



【ハンノキハムシ】
全長6～8mm。湖岸に多いハンノキの葉等を食
べる。食べた後の葉は網
目状になり、まるで繊細
なスケッチのよう。

レンジャーのおすすめ自然情報

ウトナイ湖のほとは新緑が美しく、さわやかな季節を迎えています。

近くで野鳥の鳴き声が聞こえ観察も楽しめますが、この時期、野鳥たちは繁殖期の真っ最中。野鳥たちに負担をかけないよう、適度な距離と時間を心がけて観察を楽しみましょう。また、ヒナや巣には近づかないように心がけましょう。



ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



facebook



X (旧 Twitter)

自然観察路ガイドマップ【春】



春のお薦めポイント

3月の早朝、湖では数万羽のマガンのねぐら立ちが見られます。
4月中旬から、林の中では次々と渡ってくる夏鳥たちの賑やかなさえずりが聞かれるようになります。
4月下旬には、はるばるオーストラリアからオオジシギが渡ってきます。
5月下旬、自然観察路の木道沿いにはズミの白い花が満開になります。